

株式会社ディグナ

ディグナは、創業から10年以上、中小企業・のデジタル化の支援をしています。2020年度、ITに関する中小企業からの相談実績は4000件以上。中小企業の経営課題を解決するクラウドサービス（SaaS）の導入支援を行っています。経済産業省認定情報処理支援機関、Google Cloud Partner（Google Workspace 正規代理店）他。会社名は、生まれつきデジタル（インターネット）のある環境で育った世代の意味である「デジタル・ネイティブ（Digital-Native）」に由来しています。デジタルネイティブは、アナログの良さもデジタルの良さも知っている世代であると考えています。ディグナは、2010年12月1日、代表の梅崎健理氏が高校在学中に福岡市にて設立しました。また、代表は、同日に新語・流行語大賞「～なう（SNSで今何をしているかを表す言葉）」にてトップ10を受賞しました。同社は「日本の未来をデジタルとアナログの融合で豊かにする」というビジョンを掲げています。「中小企業のIT化に貢献する」というミッションを達成するために、「わからないことがわかるITの先生を育てる」取り組みを行っています。

実施期間	2020年12月～2021年1月（準備期間約1ヶ月半）
最終登録完了社数	296社
登録説明会開催数	10回 北海道、青森県、福島県、栃木県、東京都、滋賀県、福岡県
登録説明会参加者数	176名
問い合わせ件数	1350件以上

会社名	株式会社ディグナ
法人番号	9290001052301
本社	東京都港区赤坂9丁目1番7-1014号
設立	平成22年（2010年）12月1日
代表者	代表取締役 梅崎 健理
従業員数	24名（アルバイト・パート含）
事業概要	【DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進事業】 中小企業のIT導入を積極的に推進する事業。 ITに詳しくない中小企業経営者に寄り添う学校「DX学校」の運営。「IT導入診断士」講座の開講、資格認定。
加盟団体	（公社）日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構
取引実績	Google合同会社、LINE株式会社、株式会社ゼンリンデータコム、ソフトバンク株式会社、日本コカ・コーラ株式会社、資生堂ジャパン株式会社、MIKAWAYA21株式会社、他





梅崎 健理 (うめざき けんり)

DX学校 校長

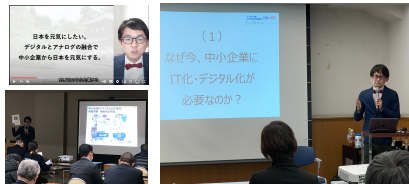
株式会社ディグナ 代表取締役

DIGNA

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 研究員 (非常勤)。
1993年 (平成5年)、鹿児島県に生まれ。愛称は「うめけん」。
慶應義塾大学 総合政策学部 卒業。

4歳からPCに触れるなど「デジタルネイティブ」として注目される。2009年6月ごろからTwitterを開始。2010年12月1日、高校在学中にディグナを設立。同日に「~なう (SNSで今何をしているかを表す言葉)」で「新語・流行語大賞」トップ10受賞。
中小企業庁「中小企業デジタル化応援隊事業」説明会講師ほか、中小企業の経営者向けの経営課題を解決するIT活用セミナー等多数。

公益社団法人日本青年会議所「JCI JAPAN TOYP 2019」
(青年版国民栄誉賞) 選考委員



代表的な著書
メディア露出

自著 講談社+α新書「ツイッターとフェイスブックそしてホリエモンの時代は終わった」。
2018年1月・6月・17年9月・7月AbemaTV「AbemaPrime(報道番組)」スタジオゲスト出演。
2018年10月スポーツ報知 社会面30頁、全面掲載。
ほか、2015年10月20日日本テレビ「今夜くらべてみました」、
2015年9月20日TBS「サンデージャポン」ゲスト出演、
2015年4月2日NHK Eテレ「オトナヘノベル」SNSの解説者としてゲスト出演、
おはよう日本、クローズアップ現代など、新聞・雑誌での掲載、講演等多数。

